※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校では保健においてグループワークやディスカッションを行い、知識を実践するための力を伸ばしたり、他者との意見の相違をいかに一つの目標に向かってすり合わせていくかということに重きをおいて授業を行います。

２　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	a:国民の健康課題や健康水準及び疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることについて理解している。 b:国民の健康課題や健康の考え方についてデータや資料の分析をし、自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	a:生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることや、定期的な健康診断の受診が必要であることを理解している。 がんには様々な種類があり、生活習慣だけでなく、細菌やウイルスの感染などの原因もあることや、生活習慣病などの予防や回復には、個人の取り組みとともに、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解している。 b:生活習慣病などの予防と回復について、個人及び社会生活と関連付けたりして自他や社会の課題を発見し、その解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:生活習慣病などの予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２ 学 期		喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	a:喫煙や飲酒による健康課題について、正しい知識の普及と健全な価値観の育成など個人への働きかけや法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解している。 薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことや、その防止についての正しい知識の普及と健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて理解している。 b:喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	a:精神疾患の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解している。 うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し、生活の質の向上が可能であることを理解している。 精神疾患の予防と回復には、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践することや、心身の不調時には、精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復の可能性が高まることを理解している。 b:精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取り組みや社会的な対策を整理し、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 c:精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	a:感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行について違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって腸管出血性大腸菌（0157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 また感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて，事例を通して整理し，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 また現代の感染症とその予防について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c:現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		健康に関する意思決定･行動選択 健康に関する環境づくり	a: 健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 また適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: 健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c:健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３ 学 期	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全	a：事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：　安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c：安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	a:適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 また日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 そして心肺停止状態においては、速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解したことを言ったり書いたりし，AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 b:応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 また応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c:応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート グループワーク 定期考査	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度